

レインボーステッカーのご案内

全日本仏教会とは

全日本仏教会とは、日本の伝統仏教界における唯一の連合組織です。広く社会に向けて、仏教の「和」の精神を広め、世界平和に寄与することを目的として今日に至っております。またWFB(世界仏教徒連盟)に加盟して海外の仏教徒との交流窓口になるとともに、各国の諸宗教とも協力して世界平和の実現をめざしております。

2015年に国連でSDGs(持続可能な開発目標)が採択され、全日本仏教会では活動の一環として「誰一人取り残さない世界の実現」に向けて、世界が合意した持続可能な開発目標への取り組みを進めております。仏教では、性別、性的指向、性自認、障害の有無、人種など、いかなる理由によっても人を差別をすることなく、全ての人がある人らしく幸せに生きられることを願っております。そのために差別や偏見によって起こる、社会問題の解決に向けて取り組んでおります。

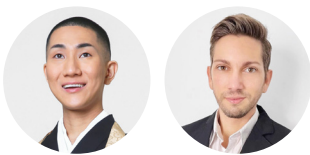
レインボーステッカー

今回作成したレインボーステッカーは、レインボーがそれぞれの色で輝いているように、それぞれの人がそれぞれの個性で輝き、幸せに生きることを仏教が願っていることを発信する目的があります。6色のレインボーは性の多様性を表す象徴として、世界的に用いられています。今回のステッカーでは、性の多様性だけでなく、すべての人の個性やその人らしさを尊重するという意図を込めたデザインです。仏教の『一切の生きとし生けるものは皆幸せであれ』という教えを心に思うだけでなく、寺院の門や玄関にレインボーステッカーを掲示していただくという、思いをかたちにした取り組みです。

- 多様性を象徴するレインボー
- 信仰のシンボルである合掌のマーク
- 肌の色にとらわれない、黒い影の色
- 全ての個性を肯定する姿勢をアピール



デザイナー



このステッカーはLGBTQの当事者の2人のアーティストによってデザインされました。西村宏堂さん(僧侶/メイクアップアーティスト)とセルヒオ・ガルシアさん(バルセロナ在住のクリエイティブデザイナー)です。西村さんは「LGBTQの当事者は、仏教のコミュニティの中にも存在し、仏教は多様な人と共に歩いていく存在である」という思いでデザインされました。

平等な世界をめざして

今回のレインボーステッカーを通して、仏教が持つ平等性を、お寺にお越しになる方だけでなく、世界に発信していきます。我々は全ての人に差別のない対応をし、その声に耳を傾け、共に考え、共に歩む姿勢を示し、また多様性についての正しい理解を深めるために、全日本仏教会では引き続き取り組みを進めていきます。このステッカーは多様性を応援する意思を持つ寺院だけでなく、ステッカーの趣旨に賛同している方々にもお渡ししております。詳しくはウェブサイトをご覧ください。また個人使用目的のために、画像ファイルをダウンロードしていただくことが可能です。